

★保護者の方と一緒に、家電リサイクルについてインターネットサイトなどを検索し答えを導き出してください。  
 間違っている問題はありませんが、一度家電リサイクル工場にお越しいただくことでより詳しく楽しく学んでいただくことができます。各地のリサイクルプラントは、当社ホームページのリサイクルプラントマップ  
 ( [https://www.krsc.co.jp/system/recycling\\_law/](https://www.krsc.co.jp/system/recycling_law/) )、または一般社団法人家電製品協会のホームページ  
 ( [https://www.aeha.or.jp/action\\_of\\_recycling/plant/](https://www.aeha.or.jp/action_of_recycling/plant/) ) にてご確認ください。

◆テレビには、大きく分けてブラウン管式テレビと液晶式テレビがあり、それぞれ回収する素材にちがいがありますが、リサイクルできるものとできないものがあります。リサイクルできないものはどれでしょう。

※リサイクルできないと思うものに丸をつけてください。



- ① 木くず      ② 鉄くず      ③ ガラス      ④ 電気コード      ⑤ 基板      ⑥ プラスチック



進め方：

当社のホームページ「処理フロー ( <https://www.krsc.co.jp/flow/> ) で回収物を確認することができます。  
 リサイクルできないものはなぜできないかを調べてみましょう。

◆発売当初の液晶式テレビは、資源にもどすため解体するのがとても大変でした。今は、メーカーさんに改善してもらったことで、多くの液晶式テレビをリサイクルすることができています。

さて、メーカーさんに改善してもらったこととは、何でしょう。

※正しいと思うものに丸をつけてください。

- ① ものすごく強力なボンドでくっつけていた。  
 ② 中からたくさんのおもちゃが出てきた。  
 ③ 使用しているビスの数を半分以上に減らした。



進め方：

薄くつくられた液晶式テレビですが、内部には多くの部品が含まれています。たとえば、当初 20 枚も使用されていた基板が、現在では 3 枚ほどに減っているとの事です。解体の手間も格段に改善されています。

◆インターネットで調べてみよう！

家電リサイクル制度も 5 年ごとに見直しがされています。経済産業省発行の「家電リサイクル法担当者向けガイドブック 2019 ( [https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/kaden\\_recycle/shiryousyu/guidebook2019\\_a4douplexprint.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/kaden_recycle/shiryousyu/guidebook2019_a4douplexprint.pdf) ) に、より詳しい内容が掲載されています。